地方通信

北海道に擧る道路愛護運動

愛鄕心の涵養と道路愛護精神の昂揚を目差す聖旨奉戴事業道路愛護共勵會十六年度の成果が三月七日北海道廳土木部の手によつて纒められた。これによると前十五年度の成績よりぐつと飛躍し各地域的に見ると左の如き成績を示してゐるが道路愛護共勵會運動によつての綜合成果は參加町村二百十二町村前年より約百箇町村の增加を見道路愛護修繕維持のため出動した人員は十六萬一千百十五名に達し、前年に比しざつと三萬五百名の增を來してゐるが道廳當局では該事業は聖旨奉戴事業であり、全道町村は擧つてこれに參加する樣要望してゐる。

尙地方的の成果の擧つてゐるのは出動人員で前年に比して石狩の二倍、檜山の二倍半空知の二倍留萌の三倍等の增加である。

（括弧内道路延長）

△石狩十五箇町村七、三三五名（八九、七〇〇米）△渡島二十五箇町村一三、一一六名（一三三、六四〇米）△檜山十三箇町村三、二六六名（三四、五〇〇米）△志三十箇町村三一、七一六名（一七五五〇〇米）△空知三十箇町村二〇、四六三名（九九、七五〇米）△上川三十二箇町村二四九二二名（一六四、〇四七米）△留萬十三箇町村四、三八〇名（二一、四五〇米）△宗谷十三箇町村一二、九八〇名（一九五、一〇〇米）△北見二十五箇町村九、二〇一名（二四八、五七一米）膽振十三箇町村三、六九七名（六四、四〇〇米）△日高十箇町村三、三七八名（四九、三三〇米）△十勝十九箇町村四、九五六名（一〇二、五五八米）△釧路十四箇町村四、一一四名（四四、九〇〇米）△根室十二箇町村四、六一七名（五七、〇〇〇米）

茨城縣勿來縣道の鋪裝

茨城縣下勿來驛より同町窪田までの三キロの縣道鋪裝問題は主要產業道路にして施工を叫ばれてをり既に受益者の寄附金負擔關係で延引してゐたが四萬五千圓の寄附金も漸く決定したので總工費十五萬圓で十七年度から三ケ年間の繼續事業として起工する事に決定した。

石川縣下若松橋、上野町間の道路改良

金澤市では昭和千六年度九萬七千九百圓

の道路、橋梁改良費を計上し三ツ屋―御供田間、大河端―粟ヶ崎間、中諸江―五郎島間、淺野川若松橋―上野町間の四路線を新設すべくかねて主務省に起債許可申請中であつたが、いよ〳〵このほどうち中諸江―五郎島間および若松橋―上野町間の兩線五萬千九八百圓が減額許可の見込立つにいたつた兩線とも幅員五米四〇、延長は五郎島線が二千二百米、上野町線が一千米でともに同方面の產業道路として擴築改良の竣成が期待されてゐる。

徳島縣下の道路愛護

『道路守れば國護る』の愛國の發露より徳島縣板野郡松西町の道路愛護は一千二百餘名の町内各部落會員が二月二十一日大道町土木主任の計劃に基き流汗の愛護作業に國縣道を始め町道に及ぶ修理と清掃は一日にして見返る樣な道路の面目に一面愛護精神の練成ともなつて、この作業こそ同町有史の成果であつた。

高知縣下川崎線の開通

高知縣西部から愛媛縣宇和島をつなぐ幹線川崎―中村間が交通杜絶となつてから約半歲既報の如く同線路の流失橋梁改修に晝夜兼行これを急いでゐた幡多支廳土木課の努力も漸く酬いられ、いよ〳〵三月廿五日から郡民歡呼のうちにいよいよ開通した。

而して同線路中最も改修困難と見られてゐた、大川筋村田出の川橋も復舊作業全くなり津大橋も完成を見た。田出の川橋の總工費は一萬九百圓で内務省の災害助成金によるもので昨年八月十四日から起工約半歲を經て漸く完了したのである。しかして同道路の復舊がどんな形ちで現れてゐるか關係町村長の偽りのない喜悅の聲を聞こう。

郡民の援助に感謝

大川筋村長談

昨年八月十三日のあの風水害の記憶は永久に忘れられません。あの當時はどうなることか復舊の見込も全然たてられず二百餘名の村民は、深いためいきをついたものです。此の間約半歲縣當局、幡多支廳並に幡郡三十五ケ町村の援助と國庫支辨に依りまして舊に倍した道路が完成され、村民一同蘇生の思ひがいたしました。この結果村民の心構へも增して强力なものとなり國のためならどんな苦勞もいとはないといふ滅死奉公の氣分を注入したわけでこの證左として昨年十月から川登部落は二十七町の桑園を整理して麥畑とした樣な次第で喜びに堪えません。

輸送能力は倍加

佐古津大村長談

災害があつてから今日迄村民の最も苦惱した點は日常物資の輸送であつた高知から物資を受けるとしても窪川經由大正、昭和、十川、江川崎を經て約二十里高價な料金と多數の日數を經てゐたわけですが此の度川崎線が開通することになれば、凡て半分の日數で供給を受けられるので村民一同無上の喜びに侵つてゐる。